「今月の主な紙面」

２．原水禁世界大会、総選挙・投票に行こう、にゃんこわんこ
３．中央社保学校、生保裁判支援のお願い
４．研修医日記、署名集会、クロスワードパズル

愛知民医連

愛知県民主医療機関連合会
〒456－0006 名古屋市熱田区沢下町９番３号
☎ 052－883－6997 FAX 052－889－2112
発行責任者　武田　修三
URL : https : //www.aichiminiren.jp/
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp
第447号

オンライン併用で６県・51名が学習交流しました

東海北陸地協

医療活動交流集会を開催

アルコール依存症をテーマにした記念講演と各県演題発表で学ぶ

県連医療活動委員
小川　一郎
名南会薬剤部長

７月31日（土）東海北陸地協医療活動交流集会をオンライン開催しました。愛知からは26名、各県連合計で51名の参加がありました。

アルコール依存症をテーマにした記念講演

記念講演は高知生協病院の二神啓通先生による「断酒会員の内科医が語るアルコール依存症」というテーマでご自身の体験談を踏まえてご講演頂きました。

はじめに先生がアルコール依存に陥った経緯やアルコール依存になったことで家庭内でのトラブル、二日酔いで職場を欠勤され信用を失ったこと、そしてアルコール依存症の診断で精神科に入院しその後断酒会（高知県断酒新生会）に入会され断酒に至った経緯をお話し頂きました。断酒後高知大学一般教養科目「アルコール学概論」内科担当、県などの保健指導の講習、またご自身のフェイスブックで依存症当事者としての情報発信などアルコール依存で苦しむ人への活動について講演され、またご自身で自分はなぜ断酒継続できているか考察をお話し頂きました。

考察では、自身がアルコール依存症であると認めることができたこと、断酒会で体験発表することで心が落ち着くことや断酒会の仲間や家族を裏切れないと言う気持ちが生じること。また職場でアルコール依存であることをカミングアウトしたことで飲酒に誘われなくなり10年かけて取り戻した信頼をもはや裏切れないことなどを断酒継続の要因としてあげられました。

またアルコール依存症の弊害や概要また医師としてアルコール依存症に関わった場合には患者周辺（家族等）に依存症の正しい知識と対処法相談先の情報を提供する。可能な範囲で精神科を受診する手助けをする。この２つをこころがけてほしいと話されました。

最後には断酒会の目的や活動内容、職場でのアルコール問題や飲酒運転がなぜ０にならないのかなどをおはなしされ、いかにアルコール依存症がこわい病気かをご講演いただきました。

各会場からは内科から精神科につなぐにはどうしたらよいか等の質問があり、なかなか精神科へつながる症例はすくないのが現実で10例あれば１例つながれば良いほうとのことでした。

記念講演の二神啓通先生

「アルコール依存症の認識が変わった」

記念講演の感想では、「アルコール依存症の認識が今回の講演をきいて変わった」、「アルコール依存を内科から精神科へ治療をつなげていく必要性がわかり、今後の医療活動につなげたい」、「先生自身が当事者なので非常に説得力があり、よりアルコール依存症を身近に感じた」、等の感想が出されました。

愛知からは名南・尾張が発表

県連発表では愛知からは千秋病院の山田穂乃香さんより千秋病院の無低診の強みやコロナ禍での取り組み等の報告がありました。同じく愛知・名南診療所の大森久紀さんは名南診療所の他施設連携や多職種連携の在宅医療活動を、実例を交えて報告されました。次いで岐阜からしいのみセンター薬局の吉田昌樹さんより県連で取り組んでいるすわんすわんタバコ拾いの活動や小中学校禁煙教室などの興味深い取り組みの報告がありました。三重の津生協病院付属診療所健診センターの大田卓さんは健康診断を「まちと人をより健康で豊かにするヘルスケアサービスの提供」というコンセプトで取り組み様々な工夫や課題を発表されました。富山から在宅福祉総合センターきずなの染矢明子さんが医療介護それぞれのファシリテーター養成の実際について発表されました。福井の保健共同企画ふくい・堀和子さんは職責研修や初期中堅研修での事例を通じたSDHの学習の実践や実践した職員の感想などの発表をされました。石川は城北病院の西谷求さんから石川民医連の活動交流集会やSDH・HPHの取り組み等の発表がありました。

最後に近藤知己全日本理事・愛知県連会長がまとめを行い、コロナ禍のもとであってもオンラインで充実した交流集会ができたこと、引き続き東海北陸地協での活動を積極的にとりくんでいこうと話されました。

第51回学術運動交流集会はオンライン開催に変更します

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、労働会館からオンラインで開催します。

■と　き　2021年11月23日（祝・火）
■オンライン　労働会館（名古屋市熱田区沢下町９-３・県連事務所のある建物）
〇午前10時～12時…ライブ配信（後日録画視聴可能予定）
講演「人権 Cafe」へようこそ～自分らしく生きるための憲法のキホン～
講師　黒澤いつき　氏
「明日の自由を守る若手弁護士の会（あすわか）」共同代表、
「民医連共済だより」に連載中
※視聴会場はありません。お好きな場所でＰＣやモバイルからご視聴ください。
〇午後１時～４時（予定）
☆分科会（演題発表者・共同研究者の方は労働会館に集合）

【分科会・演題を募集しています】
「医療・介護活動の２つの柱」に沿った演題を募集します。演題カテゴリー（愛知民医連ホームページ参照）を１つ選んで、メールにてご応募ください。
演題の申し込み期間‥９月１日～10月４日（厳守）
愛知民医連ホームページには、ここからお入りください

法人事業所だより

みなと

☆８月中に計４回『ミニワンデーナース』を開催し、９校から62人の高校生が看護師体験をしました。
☆『原水爆禁止世界大会広島』までの８月４日～６日の間レインボーセンターで『ピースウィーク』を開催。ライブ動画の視聴や原爆パネル展示をし、延べ67人が参加しました。

南

☆８月７日(土)に南医療生協創立60周年・南生協病院開設45周年記念企画「地域でなおしささえる　総合的な地域医療シンポジウム」を開催しました。メイン会場、サテライト会場、オンラインで延べ４４３名が参加し記念講演とシンポジストの報告を受け、満足度の高い記念企画となりました。

北

８月６日、大曽根駅前にて、核兵器廃絶を求めるスタンディングを地域の団体と一緒に実施（22名）。８月９日には原水禁世界大会オンライン集会の視聴会（参加30名）。
☆８月８日、「子ども食堂のいま」をテーマに、中日新聞社のＷＥＢ新聞の収録がわいわいルームで行われた。

名南

☆今年度、「たまり場」を開所した健康友の会緑支部では活発に活動しています。８月「夏休み平和企画」として、感染対策を十分行ったうえで、紙芝居・朗読・合唱と「戦地の父からの手紙」と題した体験者の講演企画に37名が参加しました。

尾張

☆８月６日原水爆禁止２０２１年世界大会ヒロシマデー集会にオンラインで友の会・職員計16名が参加。パンフレットやバッヂ購入し核廃絶運動に取り組んだ。
☆８月26・27日尾張健友会グループ各事業所、委員会を対象にＩＳＯ外部審査を受審。
☆９月１日大規模災害訓練実施。

ファルマネット

☆新型コロナウイルス感染の広がりを受けて、おくすり相談サロンの取り組みが中止に追い込まれました。個別のご相談などで少しずつ好評を得ているので残念です。職員に向けては、マスクの種類と感染防止効果の情報を提供するなど、薬局店舗での感染防止の徹底をはかっています。

はみんぐ

☆８月７日～８日、「中長期経営計画実践交流集会」にオンラインで２名参加。
☆８月25日呼続はみんぐ歯科で「みんなで宿題をやろう」の会を開催しました。
☆若手職員によるＳＤＧｓの会の活動では、８月６日原水禁世界大会に１名参加、「ＳＤＧｓの会ニュース」が発行されました。

核兵器禁止条約に参加する日本を実現しよう

原水爆禁止2021年世界大会ひらかれる

各法人でも視聴会・行動実施

今年の原水爆禁止世界大会は、核兵器禁止条約が発効して初めて開かれる歴史的な大会となりました。新型コロナ対策のためオンライン開催となり、各法人では視聴会を設けて職員、組合員・共同組織での参加や、核兵器禁止条約への署名を日本政府に求めるスタンディング行動等が取り組まれました。

労働会館ホールのヒロシマデー集会・視聴会場

核兵器禁止条約を拒否する政治を転換しよう

8月6日、ヒロシマデー集会に主催者報告を行った冨田宏治世界大会起草委員長は「核兵器廃絶へと前進するためには、核保有国や核依存国で政治を変えることが不可欠です。被爆国日本で、核兵器禁止条約を拒み続ける政治を転換するために行動しましょう。総選挙を歴史的な転機としましょう」と呼びかけました。来年の第1回締約国会議・議長国オーストリアのクメント大使は「私たちは締約国会議で、核兵器の人道的結末とリスクへの認識を高めるメッセージを発信したい」と述べ、締約国会議に唯一の戦争被爆国である日本政府が参加することに歴史的な役割があると強調しました。

核戦争は治療不可能な末期がんです

第1セッション「核兵器のない世界への共同」は、核問題や環境、対人地雷問題の代表が発言。

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のフィン事務局長は「日本政府は核兵器がもたらす結末をどの国よりも知っているのに禁止条約に加盟していない。核兵器の威嚇に加担することは許されないと、日本政府に対して声をつきつけなければならない」と語りました。核戦争防止国際医師会議（IPPNW）のウマーニャ副会長は「核戦争は治療不可能な末期がんです。治療できないからこそ、予防しなければなりません」と述べ「自然災害でない核戦争は阻止できるし、せねばなりません」と強調しました。

第2セッション「日本と世界、草の根の運動交流」では、フランス、韓国、日本の代表から活動の報告がされました。

みなと医療生協

みなと医療生協では、今年のオンライン原水禁世界大会ヒロシマデーに参加するとともに、日生協の「ピースアクション.inヒロシマ」LIVE動画の視聴をしました。

会場のレインボーセンターの廊下には原爆パネル「原爆と人間」を8月16日まで展示。日生協の動画配信では「原爆の子の像」を建てた佐々木禎子さんの同級生の証言、92歳の被爆者、切明千枝子さんの話と広島市立基町高等学校の生徒がその様子を描く「原爆の絵」の紹介などを視聴。8月4日に感染対策をとってミニコンサートを開催しました。「みなとピースウィーク」に延べ67人の方が参加されました。

みなとピースウィークとして67人が参加しました

名南会

今年の世界大会ヒロシマデー集会には名南会からは職員9名で参加しました。オンラインでの参加でした。被爆者や、たくさんの団体の話を聞くことが出来ました。

1年のうち、「戦争」や「平和」について真剣に考える機会の1つがこの世界大会です。日本中だけでなく世界中に、私たちと同じく平和を願い、核兵器廃絶のために活動をする同志がいると知ることが出来ました。今後も行っていく平和活動の意味を再確認し、やる気を与えてくれる大会でした。

全日本民医連・平和の波交流会にオンライン参加しました

尾張健友会

尾張健友会では、特養ちあき第二にオンライン会場を設け、16名が広島デー集会の様子を視聴しました。

次のような感想が寄せられました。

「（政府が）締約国会議にオブザーバー出席するよう運動していきたい」

「『核戦争は自然災害ではありません。私たちはそれを阻止できる』との発言が心に残りました」

「数十億ドルを核兵器の維持・開発にかけている。そのお金があったら、パンデミックで失われた数百万の命を救うことが出来たかもしれないことを知ってほしいです」

ヒロシマデー集会に16名が参加しました

北医療生協

8月6日、広島慰霊の日、核兵器廃絶を求めるスタンディング行動（大曽根駅前）の上空は抜けるような青空が広がっていました。「76年前の今日、広島にはどんな空が広がっていたのか」、「あの日、いつもどおりの1日が始まろうとしていた広島・長崎を想像する力を持ちたい」。そのような想いが自然とこみ上げてきました。地域の団体と22名で取り組みました。

8月9日、原水禁世界大会・ナガサキデー集会視聴会（上飯田ワイワイルーム）にも30名参加。

大曽根駅前でスタンディング行動を22名で実施しました

投票に行こう！ 総選挙近づく

「2021年総選挙にあたっての全日本民医連の要求」リーフレットを読もう

菅首相が自民党総裁選には立候補せず、退陣することを表明しました。コロナ対応での無為無策、東京五輪の強行などによって感染爆発・医療崩壊への国民の批判、世論と運動に追い詰められた結果です。

こうしたなかで総選挙（衆議院議員を選ぶために行われる選挙）が目前に迫っています。

全日本民医連のリーフレット「2021年総選挙にあたっての全日本民医連の要求」はもう読まれましたか？

来る総選挙は、いのちが最優先される社会への転換を実現する絶好のチャンスです。私たちの要求を実現するために、地域の広範なみなさん、医療・介護・福祉に携わる仲間のみなさんとともに、手をとり合い、ともに声をあげていきましょう。

うちのわんこ にゃんこ

仕事から帰って、たろすけの顔をみると疲れも癒されます

保護猫の譲渡会でゴロゴロ喉を鳴らしながらすり寄ってきた黒猫がたろすけとの出会いでした。初めてうちに来た日もゴロゴロとすり寄ってきて、とっても人懐っこく大人しい子でした。でも最近は慣れてきたせいか、子供達と一緒になって元気一杯家中を走り回っています。

仕事から帰って、たろすけの顔を見ると疲れも癒やされます。猫じゃらしで一緒に遊ぶことが私のストレス発散になっています。これからも一緒に遊んでね！ただ一つだけ早朝と深夜の運動会はやめて欲しいです！

みなと医療生活協同組合
協立総合病院　透析室
看護師　奥村聖美
（おくむらきよみ）

たろすけ
スコティッシュフォールド　8ヶ月

中央社会保障学校 From 名古屋 ひらかれる

コロナ禍、いのち・くらしの「危機」が迫っている！
みんなの安心支える社会保障運動をつくろう

8月28、29日の両日、中央社会保障学校（中央社保協などの主催）が名古屋市熱田区の労働会館と全国をオンラインで結んで開催されました。

愛知民医連では、県連社保学校として位置付けて参加に取り組み、５法人・18名が受講しました。

第１講座は石川康宏神戸女学院大学教授が「コロナ後の社会を切り開く」として講演。

コロナ禍があぶりだした新自由主義の問題点を歴史的に批判しつつ、幸福大国と呼ばれているデンマークでは上限週37時間労働、最低賃金１８００円、医療も介護も無料、幼稚園から大学まで学費無料、貧困率が世界で一番低い等の現状と総選挙の投票率84・５％など、政治を変える市民の努力を紹介しました。さらに近代日本の歴史をふりかえりながら、独自の現代的な市民革命として主権・人権・立憲を野党連合政権で実現しようと強調。そして、「学習なしに個人も運動も成長しない。政治を変える市民の自力を」と呼びかけました。

第２講座は、村田隆史京都府立大学准教授が、社保協の「社会保障入門テキスト」を紹介し、社会保障の現状と課題を話されました。

第３講座はコロナ禍での社会保障の課題をテーマにしたシンポジウムで、長友薫輝三重短期大学教授がコーディネーターを務めて各分野から報告してもらいました。医師の大島民旗氏（大阪民医連会長）は、「自宅療養患者が症状悪化しても搬送先が見つからない。日本のようになっていない国はたくさんある。病床削減、医療従事者の抑制を見直すべきです」と訴えました。

保健師の塩川氏（名古屋市職員労働組合）は、「名古屋では労組と市民が保健所を守ってきたが、それでも業務が回らず改善が必要」。保育士の武藤氏（自治労連）は「そもそもコロナ前から国の保育政策は不安だらけ。制度改善の運動をすすめている」と報告。愛労連の竹内事務局長はコロナ禍の電話相談活動を報告し、実態を行政に伝えて様々な成果をあげている。あきらめずに声をあげ、輪を広げたい」と報告されました。

行動提起として、中央社保協の山口事務局長が、政治転換の世論を大きくし、「いのち守る緊急行動」「新・いのち署名」の取り組みに結集しようと呼びかけました。

感想文から

ファルマネットみなみ　垣井　健晴さん

今回の石川先生の話は、今の情勢にとって希望が見えるような話でした。また学習なしに個人も運動も成長しないという話に、やはり学習が大事だということを改めて考えさせられました。社会保障テキストはぜひ続けていってほしいと思いました。

尾張健友会　渡邊　智史さん

コロナ禍の中、新自由主義から脱却し、いのちとくらしを守る社会の実現が必要です。現場の課題の共有と、社会保障の現状も学ぶことができました。社会保障入門テキストを活用して社会保障拡充に取り組む仲間を増やしましょう。

名南会　小出　治人さん

新自由主義や、デンマークの国の話しの中で、歴史的な経緯から現状があることをわかりやすく説明され、今後の展望が開けるという希望を持つことができるお話だったと思います。コロナで制限されることも多いですが、できることで命を守る政治の実現をすすめていこうと思いました。

生活保護は国民の権利です

生活保護基準引き下げ違憲訴訟への支援を広げよう

９月27日（月）、名古屋高裁で生活保護基準引き下げ違憲訴訟（第３回）の控訴審が行われます。憲法第25条が定める生存権保障の理念を体現させる意義のある裁判です。ご支援をお願いします。

なにがあったの？

国は、２０１３年から３年間で、生活保護費のうち食費などに充てる生活扶助費を年間６７０億円引き下げました（平均６・５％、最大10％）。生活保護で暮らす原告１０００人以上が、生活保護費減額の取消しを求めて全国29の地方裁判所で行っています。

しかし、昨年6月25日名古屋地方裁判所は、原告らの請求を全面的に棄却する判決を行いました。

憲法25条は全ての人に「健康で文化的な最低限度の生活」を保障していますが、名古屋地裁の判決は、「最低限度の基準」は厚生労働大臣の裁量に全てまかされているというとんでもないものです。また、生活保護法8条は、生活保護基準が最低限度の生活の需要を満たすために必要な考慮事情をはっきりと定めています。それなのに名古屋地裁判決は、生活保護法8条の要件を考慮しなくても良い、審議会の検討を経ずに基準を決定しても問題がないなどと、憲法も法も無視した内容になっています。

今年６月24日控訴審終了後の報告集会（桜華会館）

とくに、２０１３年の引き下げが、自民党の政策の影響を受けていた可能性を認めながら、自民党の政策は「国民感情や財政事情を踏まえたもので」、厚生労働大臣が、これらの事情を考慮して生活扶助基準を改定できることは明らかであると判断しました。裁判所みずからが「司法」の役割を放棄したものであり、見過ごすことはできません。

厚労省のデタラメな物価偽装

裁判で争われた生活扶助基準の引下げは、厚労省が参考となる統計のデータの選別や計算方法について、意図的に、物価が大きく下落したように見せかける偽装を施すなどの重大な問題を抱えるものです。統計の専門家が証人として出廷し問題点を訴えたにもかかわらず、裁判所は問題点を直視しませんでした。前回６月24日の控訴審では、原告らは司法審査のあり方と名古屋地裁判決の誤りを指摘しました。

社会全体の生活水準の引き下げに連動

生活扶助基準が下がるということは、社会全体の生活水準のラインが引き下がることも意味します。

最低賃金の引き上げに対する抑制をはじめ、生活保護基準を目安にしている教育・福祉・介護施策（就学援助、生活福祉資金、介護保険利用料・保険料の減額など）などの低所得者向けの施策に連動しています。

名古屋高裁・控訴審への傍聴支援を呼びかけます

コロナ禍のもとで失業者の増加など貧困と格差が拡大する今、最後のセーフティネットである生活保護制度はますます重要です。

控訴審での逆転勝利を勝ち取るためには、「社会保障は国の責任」の声を裁判所に届けていくことが大切です。９月27日（月）午後２時30分からの名古屋高裁控訴審への傍聴支援をお願いします。

コロナ禍の今だからこそ！
ココロにいつも笑顔を

まんがコーナー　かなめ病院・ＭＳＷ　伊藤美鈴さんの投稿をもとに、千秋病院・看護師　寺澤詩子さんに４コマ漫画を書いてもらいました。

eスポーツ観戦で熱く応援

わたしのお気に入り (9)

自粛生活が続いている中、自宅で何をされて過ごしていますか？私はスポーツ観戦をしています。ただ、スポーツと言ってもゲームを題材にした「eスポーツ」です。eスポーツは全てオンライン上で行うことができるため、このコロナ禍で急激に流行りだした競技大会をよく見ています。

写真は様々なeスポーツのイベント・大会を運営している「RAGE」の公式Twitterです。皆様も興味のあるゲームを探してみてはいかがでしょうか。ゲームの内容だけでなく、お気に入りの選手を探したり、応援したりするだけでも熱くなれると思います。

ファルマネットみなみ　わかば薬局　大高店　薬剤師　小川　喜寛

研修医日記

医療従事者としてのやりがいを実感しながら

協立総合病院 初期研修２年目
長井　宏樹

昨年までは医師として一番下の学年でしたが、４月になり後輩も入職してきて、ちゃんと成長しろよと尻を叩かれているような気持ちになりました。まだまだ自分のことばかりでいっぱいいっぱいで持つ余裕などはありませんが、先輩に倣い後輩に学びながら、少しずつ自分も今まで貰ってきたものを周囲に還元していきたいなと、そんなことを考えながら日々奮起しています。うまく纏まりませんでしたがこれにて、拙文ご清覧ありがとうございました。

協立総合病院初期研修医２年目の長井宏樹と申します。研修医日記という内容で原稿依頼を頂き、９月初めに筆を執っていますが、ご一読お付き合い頂けますと幸いです。

つい先日入職したばかりのような気もしますが、ふと気が付くと初期研修の２年目の２年目前半ももう終わろうかという時期になっていて、このような機会に振り返ってみると時間の経つのを本当に早く感じます。医学生から研修医になった当初は、社会人としても医師としても一年目で、右も左も分からないまま突然に業務上の様々な事に関して確認を求められる立場になり（なお実際には、先達のコメディカルスタッフの方々のほうが視野も広く色々な状況が見えていて、新米研修医の判断など全くアテにされていない訳ですが）、非常に大きな戸惑いを覚えました。「分からないので確認してきます」と言い、指導医の先生を探して病院内を伝書鳩のように駆けずり回っていたことも記憶に新しいです。もちろん今でも分からない・出来ないことには枚挙に暇がなく勉強の毎日ですが、少しずつ対処できることが増えてくると、微々たるものとは存じますが、医療従事者として少しは社会に貢献できているのかなと、やり甲斐を実感しながら毎日に臨めています。

いのち守る運動に決起しよう

秋の署名スタート集会開かれる

いのち守る秋の運動・署名スタート集会が９月７日、労働会館東館ホールとオンライン併用で行われました。主催は、愛知社保協、名古屋市国保と介護の会、愛労連。40人が参加しました。

◆新いのち署名

今年取り組んだ「いのち署名」は全国で65万筆を集約し、紹介議員」に応じた国会議員は１００名を超えましたが、審議未了となりました。この運動をさらに大きく広げるため、新「いのち署名」に取り組みます。

集約は第１次・21年12月末、第２次・22年５月末

介護署名を呼びかける県連・武田事務局長

◆75歳以上医療費２倍化中止署名

国会では強行採決されましたが実施は来年からです。署名の力で２倍化を中止させましょう。

集約は第１次・21年12月末、第２次・22年５月末

◆名古屋市・国保と介護保険の改善署名

名古屋市の国保料は、５大政令市で２番目に高く、かつて２００億円あった一般会計からの繰入も昨年度は66億円です。運動で様々な改善を実現させましたが、根本的な制度改善が必要です。

名古屋市の介護保険料も県内１番の高額で20政令市の中でも４番目の高さ。保険料を払えない人が続出し保険料減免も未実施。改善はまったなしです。集約は、第１次・21年11／５、第２次・21年12／17

◆介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名

介護保険料が高すぎてもう払えないという人が増えていますが、さらなるサービス削減と負担増が狙われています。保険料の引き下げと国庫負担の大幅増額で、介護をする人も受ける人もともに大切にされる制度を実現していきましょう。

集約は第１次・21年11月末、第２次・22年１月末

このほか、保育署名、敬老パスの運動、名古屋市厚生院の特養存続署名、緑市民病院を守る署名についても訴えがありました。

最後に愛知社保協・小松事務局長が行動提起を行い終了しました。

読者のひろば

スポーツクライミング

南生協病院　事務　小島　美穂

オリンピックの新競技であるスポーツクライミングをスマホとテレビで鑑賞しました。クライミングは老若男女できるのでこれを機に気軽にやってみようと思う人が増えると嬉しいです。

RSウィルス

協立総合病院　放射線技師　中島　あゆ子

下の息子がRSウィルスに感染しました…そして、上の息子にも感染ってしまったようです（涙）気をつけていても、家庭内感染はなかなか防げません（汗）

温暖化の影響かな

北病院　看護師　池田　幹人

この夏はうだるような暑さかと思えば、次の週は大雨続きなど変な天気が続きました。これも気候変動、温暖化の影響なのかなと思います。

職場復帰します！

千秋病院　介護福祉士　棚田　英里

９月で次女が１歳になります！　そして私は職場に復帰。産休前とは部署が変わりちょっと不安です。子どもは初めてママから離れ託児所で預かってもらいます。子どもも不安なのは同じ。私も頑張ります。

疲れが一瞬でとれます

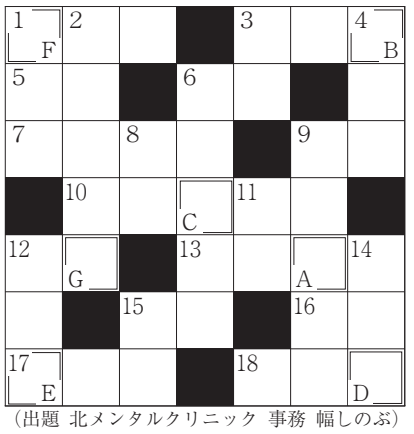
老健かたらいの里　理学療法士　長坂　一樹

生後６ヶ月になる娘が笑顔でハイハイして僕の方に来てくれるようになりました。この笑顔を見ると疲れも一瞬でとれますね。

クロスワードパズル

クロスを解いてA～Gに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え　A　B　C　D　E　F　G



（出題　北メンタルクリニック　事務　幅しのぶ）

【たてのカギ】
1 風が吹き荒れること。暴風雨やブリザードにも使う
2 三蔵、孫悟空、猪八戒、沙悟浄といえば
3 奈良県といえば大仏にこの動物
4 詩
6 予行練習
8 魚＝ぎょ、さかな、○○
9 食パンが焼けます
11 原子番号15、元素記号P
12 山麓のゆるやかな傾斜地
14 コレが上がる町並みがある美濃加茂市
15 ○○置き、○○桁、カモノ○○

【よこのカギ】
1 酒蒸し、味噌汁、しぐれ煮といえば
3 物事が良い方へ進むこと、進展、発展、向上
5 ○○雨、○○鳴、落○○
6 ○○に冠を正さず
7 仏教から派生した分派
9 ジェリーにからかわれる猫
10 絵本で常に探されています
12 ミスやトラブルはコレを狙って起きる？
13 数字をあつかう教科

ご応募ください。QRコードも可。ペンネームや事業所名・職種不記載は抽選の対象外です。

正解者の中から抽選で３人の方に図書カード進呈。

近況や感想が「読者のひろば」に掲載された方も当選者の半額分の図書カードを進呈します。９月号クロスワードパズルの応募締め切りは９月３日です。

〈クロスワード当選者〉

８月号、正解は「**暑さ対策**」。応募総数27通で正解は26通でした。次の方々が当選されました。

・**梅谷　裕美さん**（協立総合病院）
・**小川　美由紀さん**（南生協病院）
・**柴田　佳代子さん**（北病院）

〈応募要項〉

あて先は、〒４５６－０００６　名古屋市熱田区沢下町９－３　愛知民医連宛。①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

https://goo.gl/k5hZMy

８月号おわび

たてのカギ16の問い「神無月」は「水無月」の誤りでした。

理事会報告

☆近藤会長名で「これまでに経験したことがない感染症流行、最大級の感染対策で、職員同士支え合い、患者・利用者・地域と結びつき、困難を乗り切りましょう」の感染対策の徹底と職員のいのちと健康守る呼びかけ文を発出しました。

☆全国で感染が拡大し、愛知県では、オリンピックが閉会した10日後の８月18日から、新型コロナウイルス感染者数が１日１０００人を超える状況となりました。８月26日の時点では２１４１人と過去最多の感染者数となっています。25日時点で、愛知県のコロナ専用病床に対する入院患者数は７２３人、使用率は41・６％、重傷者数は42人、特に、自宅療養者は１０３９４人と最多になっています。

☆原水爆禁止世界大会はオンラインで開催され、８月６日、９日中心に各法人で88名が参加しました。また、期間中に商業施設や駅頭、事業所前でスタンディングを行い、核兵器禁止条約の批准求める宣伝にも取り組まれました。

☆９月からいのち守る緊急行動とともに、安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため、社会保障充実に向けての各種署名をはじめとした運動が始まります。人権Ｃａｆｅの学習運動とともに、ソーシャルアクションに取り組みましょう。

【８月28日第２回理事会　県連事務局長　武田修三】